



(参考仮訳)

プレスリリース No.14/434
即時解禁
2014年9月21日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事、 G20 の成長戦略の前進を歓迎するとともに、回復の強化に向け追加的措置を求める

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は、オーストラリア・ケアンズで開催されていた 20 カ国・地域 (G20) 財務相・中央銀行総裁会議の閉幕にあたり、本日以下の声明を発表した。

「世界経済は引き続き回復しているものの、地政学的緊張や金融市場の混乱のリスクも背景に、そのペースは依然として遅くかつばらつきがある。このことから、より強固でより多くの雇用を生み出す回復に資する経済政策の促進が、現時点において重要である。

中期的成長を押し上げるための成長戦略の策定で、G20 各国が大きく前進したことを歓迎する。こうした戦略の一環として今日までに示されたコミットメントをもとに、我々と OECD が試算したところ、2018 年までに G20 全体の GDP を約 1.8% 幅上乗せできる可能性があることが明らかとなった。今年初めのシドニーで示した目標値は 2% である。これは、大きな前進であり、合意済みの目標の実現に向け、最終的な取り組みを進めるべきである。

今後、断固たる決意を持って実行していくことが重要である。その過程は今後も G20 の精神のもと各国主導であるべきだが、IMF はその努力のモニタリングを支援する用意がある。IMF は今後も、裾野の広い公平な経済成長を促進するため、波及効果の分析などを通し、健全な金融及び財政政策を支援していく。また、我々は、成長志向の財政戦略を支える、国境を越える租税回避と脱税に対する国際的な取り組みで G20 を支援するよう要請を受けた。

同時に、G20 が、IMF の 2010 年のクォータ及びガバナンス改革の実現に向け前進するよう求めたことも指摘したい。我々は、この点で早急に前進しこれを実現するこ

とが重要であるとの認識を共有するとともに、IMF加盟国が改革を完了することを強く期待する。

トニー・アボット首相、ジョー・ホッキー財務相、オーストラリア準備銀行のグレン・スティーブンス総裁をはじめ、ケインズでの有益な議論をリードした同会議のホスト国であるオーストラリア当局に感謝する。11月のブリスベン・サミットが実り多い会議となるよう期待している」